



東陽の旋風かぜ ～自律協働貢献～

令和6年11月29日（金）No.31 発行
文責：松本 卓也

えがおの花を咲かせよう ～東陽町文化の祭典～

24日（日）、東陽スポーツセンターで「東陽町文化の祭典」が開催されました。「えがおの花を咲かせよう」のテーマのもと、歌や踊り、男女共同参画啓発劇や空手の演武等、さまざまな文化がステージ上で披露されました。

子どもたちは、伝統文化学習で取り組んできた、「箱石銭太鼓踊り」、「坂より上棒踊り」、「石匠太鼓」を、由来や思いを受け止め、華麗に力強く表現してくれました。子どもたちの振り返りを一部紹介します。



「学んだことは、仲間との協力と、練習すればするだけ成果がでることです。（1年Oさん）」
「今年から1年生に教える立場になり、教えるということの難しさがよくわかりました。（2年Sさん）」
「先人の方々が、どのような思いで踊りを創ったのかを考えることができました。（3年Oさん）」



閉会後には、実行委員会副会長のH様から、「感動しました・・・。」とのお言葉をいただきました。地域の一員として、ふるさと東陽に脈々と受け継がれてきた伝統文化を、これからも継承していきたいと思えます。これまでご指導いただきました地域指導者の皆さま方、大変お世話になりました。※21日（木）熊本日日新聞に小中の取組が掲載されました。



【引用：熊本日日新聞】

進路選択や将来の生き方について考える Part3

26日（火）から3年生の三者面談が始まりました。中学卒業後の進路を決定する大事な話し合いです。何を基準にして進路先を選ぶのか？は、一人一人違います。その高校で「何を学びたいのか？」「何を頑張るのか？」によって、授業内容であったり、進路実績や課外活動（部活動等）になったりします。大事なものは、将来の生き方（働き方）と関連付けて考えることです。フリージャーナリストの池上彰氏は、「世の中の役に立っているか、人のためになっているか、という視点は非常に重要」と述べています。やりがいや働きがい、生きがいを感じる生き方を目指し、それに向けた「進路選択」をしてほしいと願います。



【Kさんの様子です】

東陽中の未来を託す ～政見放送～

本日、生徒会役員立会演説会を行いました。これから東陽中の中心となって活躍してくれる生徒会役員を選ぶ大切な選挙です。27日（水）、28日（木）に立候補者7名の政見放送を行いました。「独りぼっちがいない学校、挨拶・返事がしっかりできる学校を創ります。」「先輩方に憧れをもったから立候補しました。独りぼっちがいない学校を創ります。」「皆さんの役に立ちたい、一人一人が輝ける学校を創りたいと思って立候補しました。」等、立候補した理由とよりよくするための抱負を述べてくれました。生徒全員が東陽中学校生徒会の一員です。“自分たちの学校は自分たちで創る！”当事者意識を持って投票してほしいと思えます。【2年教室です】



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）